

名古屋国税総合庁舎耐震改修工事現場研修会

参加者募集のご案内

主催 (公社) 愛知建築士会
教育講習委員会
共催 国土交通省 中部地方整備局

この度、愛知建築士会では、中部地方整備局のご協力のもと「名古屋国税総合庁舎耐震改修工事現場研修会」を開催いたします。現在工事中の当現場におきましては、増幅機構付制振ダンパー・SRF 繊維補強、また経済的に優れた耐火被覆撤去工法を採用しており、建築士の皆様に実際目で見て頂くことでより具体的にご理解いただける絶好の機会です。

ぜひともご参加いただき、見識を深められますようご案内申し上げます。

○ 日時及び会場

平成 26 年 10 月 31 日 (金) 午後 1:30～午後 4:00 まで (午後 1:20 までに集合)

名古屋市中区三の丸 3-3-2 名古屋国税総合庁舎南側駐車場内 現場事務所 (別紙)

* ご注意 駐車場がありませんので、公共交通機関をご利用ください。(別紙案内)

○ 定 員 20 名 申込締切 10 月 24 日 (ただし定員になり次第締切)

* ご注意 ヘルメットは現地にて貸与します。

* 現場見学は 10 名で 2 班に分かれて行います。

○ 対 象 者 建築士会会員及び建築士全般

* CPD 単位：2 単位 (認定予定)

○ 参 加 費 無料

○ ご注意 傷害保険などは、参加者各自にてご対応をお願いします。

申込方法：下記申込書にご記入の上、愛知建築士会まで FAX (052-261-0251) にてお申し込みください。

受付後、受付番号を記入し FAX いたします。当日、参加券としてご持参ください。

「名古屋国税総合庁舎耐震改修工事現場研修会」の申込書

FAX: 052-261-0251

参加者名	フリガナ	
連絡先	〒	TEL () - FAX () -
会社名又は 所属先		
いずれかに○を付けてください。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 会 員 (会員番号：) <li style="padding-left: 100px;">支部名 ・ 非会員 	



番で受付いたしました。当日、参加券としてこの FAX をご持参下さい。

名古屋国税総合庁舎耐震改修工事現場研修会

平成 26 年 10 月 31 日 (金)

名古屋国税総合庁舎耐震改修工事

企画発注 国土交通省 中部地方整備局 営繕部

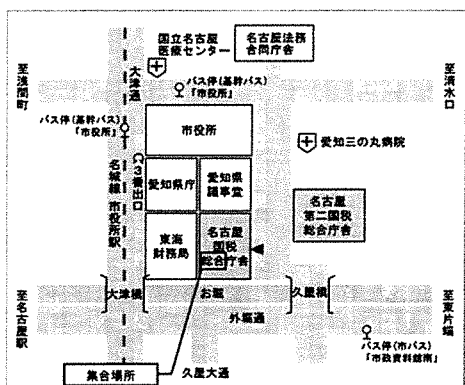
設 計 株式会社 ニューミュージック

監 理 国土交通省 中部地方整備局 営繕部 株式会社 市川三千男建築設計事務所

施 工 東洋建設株式会社

スケジュール * 当日の現場施工状況等により、変更もあります。

集 合 13:20 名古屋国税総合庁舎南側駐車場内 現場事務所前 (順次 会議室へ案内します。)



■ 公共交通機関について

1. 地下鉄/名城線市役所駅(3番出口)で下車、徒歩10分
2. 市バス、名鉄バス「市役所」バス停で下車、徒歩10分
3. 市バス「市政資料館南」バス停で下車、徒歩5分

1 : 開 会 13:30

2 : 主催者挨拶 公益社団法人 愛知建築士会

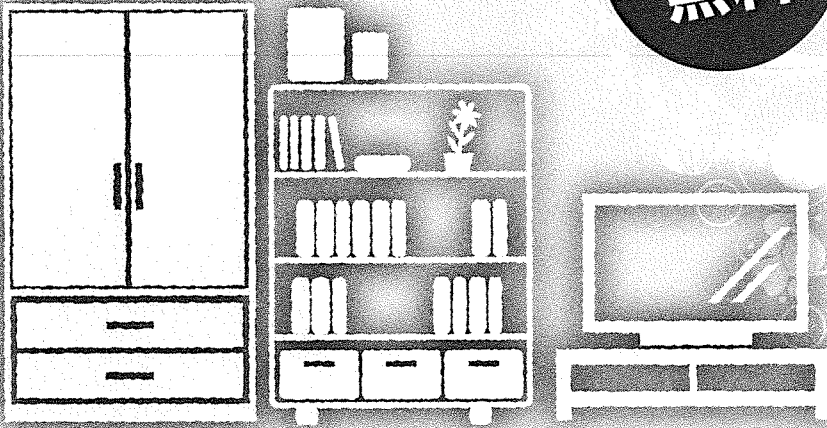
3 : プログラム

時 間	内 容	講 師
13:30	主催者挨拶	
13:35~13:50 (15分)	設計概要説明・工事概要説明	中部地方整備局 営繕部
13:50~14:30 (40分)	各耐震工法説明	
14:30~15:30 (60分)	工事現場見学	
15:30~15:50 (20分)	質疑応答	

4 : 閉 会 16:00 (予定)

第26回

ゆとりある住まい講演会

幸せを引き寄せる
片づけのすすめ入場
無料収納スタイリスト
吉川永里子氏

大学卒業後、フリーライターとなり、2008年「すてきな奥さん」に登場したのをきっかけに、本格的に収納スタイリストとして活動を開始する。メディアを中心に整理収納スタイリングやアドバイスを行う傍ら、個人のお客様を対象とした整理収納レッスンに精力的に取り組む。20年来片づけられなかった自身の経験をもとに、テンポよく分かり易い言葉で片づけ術を伝えている。

主な活動

<テレビ> 「ノロメン流」(テレビ東京)

<書籍> 「元「片づけられない女」の幸せの引き寄せ方 片づけ道」

「ズボラさんのための片づけ大事典」

「子供がいてもキレイがつづく! ラグするための片づけルール」

「15分でできるところから始める 吉川永里子の探しものなくなる片づけ術」

他ラジオ、雑誌講演、ワークショップなど幅広く活躍中。

日時

平成26年 10月23日(木)

開場…正午

第1部 午後1時00分「すまいる愛知住宅賞」表彰式・入賞作品の紹介

第2部 午後2時30分「ゆとりある住まい講演会」(終了予定:午後4時)

場所

名古屋市中区役所ホール

名古屋市中区栄四丁目1番8号(地下鉄「栄」駅12番出口から徒歩1分)

参加人数

定員 500名

(定員になり次第締め切ります)

問合せ先

一般財団法人 愛知県建築住宅センター内
愛知ゆとりある住まい推進協議会 事務局
〒460-0008 名古屋市中区栄4-3-26
TEL (052)264-4022 FAX (052) 264-4041

申込方法

FAXまたは往復ハガキで、勤務先又は住所・氏名及び電話番号を明記し、
愛知ゆとりある住まい推進協議会事務局あてにお送りください。
なお、FAXの場合はこのチラシでお申し込みください。

氏名

勤務先
又は住所

電話番号

FAX

主催:愛知ゆとりある住まい推進協議会、中日新聞社、愛知県、名古屋市

後援:独立行政法人住宅金融支援機構東海支店、独立行政法人都市再生機構中部支社、愛知県住宅供給公社、名古屋市住宅供給公社、愛知県地域婦人団体連絡協議会



すまいる愛知

愛知ゆとりある住まい推進協議会

ホームページのご案内 <http://www.yutori.gr.jp>

入場無料

平成26年度「公共建築の日」及び「公共建築月間」中部地区イベント

建築CPD
情報提供制度
認定プログラム

講演会

手段としてのBIM

～先進事例にみる応用と可能性～

講演1

官庁営繕事業におけるBIMの取組

～試行の成果及びガイドラインのポイント～

国土交通省 大臣官房官庁営繕部 整備課
施設評価室長 山田 稔 氏

講演2

施工段階でのBIMデータの有効活用

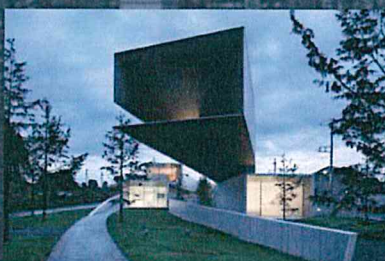
鹿島建設 株式会社 建築管理本部 建築技術部
BIM推進グループ グループ長 安井 好広 氏

草薙総合運動場 体育館



講演3

BIMの現状と課題 ～建築生産変革の可能性～

株式会社 日建設計
執行役員 設計部門代表 山梨 知彦 氏

ホキ美術館



日時

平成26年11月27日(木)

14:00～17:20 (開場:13:30)

場所

愛鉄連厚生年金基金会館 (4階大会議室)

名古屋市中村区黄金通1-18

地下鉄桜通線「中村区役所」下車4番出口徒歩3分



主催：「公共建築の日」及び「公共建築月間」中部地方実行委員会
 後援：中部地方整備局、岐阜県、静岡県、愛知県、三重県、静岡市、浜松市、名古屋市
 問合せ先：(一社)公共建築協会中部地区事務局 TEL:052-243-0789

11月11日は「公共建築の日」、11月は「公共建築月間」です。

行政、教育、文化、社会福祉など様々な分野にわたる各種の公共建築は、広く地域の人々の生活に密接な関わりを持ち、地域の活性化、街並み・景観の形成を図る上で重要な役割を果たしています。公共建築の果たす役割を国民の皆様にも広く知っていただくため、また、国民生活により一層密着した公共建築を考えていくために、「公共建築の日」「公共建築月間」が創設されました。

「公共建築の日」である11月11日は、建築の基本的な構造を象徴している四本の柱をイメージしており、国会議事堂の完成年月が昭和11年11月であることにも由来しています。

講演会 手段としてのBIM ～先進事例にみる応用と可能性～

国土交通省官庁営繕部では、平成26年3月に「官庁営繕事業におけるBIMモデルの作成及び利用に関するガイドライン」を策定し、基本的な考え方と留意事項を示すことで、具体的な事業における利用を推進しています。今回の講演会では、建築分野におけるBIMの普及・発展に寄与することを目的に、BIM利用の先進事例をご紹介する中で、設計手法やプレゼンテーションへの応用の可能性を探りたいと考えています。

※ BIM：「Building Information Modeling」の略称。コンピュータ上に作成した3次元の形状情報に加え、室等の名称・面積、材料・部材の仕様・性能、仕上げ等、建築物の属性情報を併せ持つ建物情報モデルを構築すること。

講演1 官庁営繕事業におけるBIMの取組 ～試行の成果及びガイドラインのポイント～

山田 稔 氏 国土交通省 大臣官房官庁営繕部 整備課 施設評価室長

講演2 施工段階でのBIMデータの有効活用

安井 好広 氏 鹿島建設 株式会社 建築管理本部 建築技術部 BIM推進グループ グループ長

略歴 1991年 鹿島建設株式会社入社、関西支店
1999年 鹿島ヨーロッパ出向
2006年 建築管理本部
2009年 関西支店
2012年 建築管理本部
2013年 BIM推進グループ発足、現職

講演3 BIMの現状と課題 ～建築生産変革の可能性～

山梨 知彦 氏 株式会社 日建設計 執行役員 設計部門代表

略歴 1984年 東京芸術大学美術学部建築学科卒業
1986年 東京大学大学院都市工学科修士課程修了
株式会社日建設計入社
2011年 同社 執行役員

主な作品 2009年 木材会館 【2010年 日本建築家協会賞】
【受賞歴】 2010年 ホキ美術館 【2011年 JIA日本建築大賞】【2012年 BCS賞】
2011年 NBF大崎ビル(旧ソニーシティ大崎)
【2014年 日本建築学会賞作品賞】【2013年BCS賞】

平成26年度「公共建築の日」及び「公共建築月間」中部地区イベント 講演会 FAX申込書

※以下の記入欄に必要事項を記入の上、FAXでお申し込み下さい。

申込先：(一社)公共建築協会中部地区事務局 TEL：052-243-0789 申込先 FAX：052-241-6152

※参加者には、確認票をFAXで返信致します。応募者多数の場合は、先着順とさせていただきます。(定員：150名)

※講演会は、建築CPD情報提供制度の認定を受けたプログラムです。認定を希望される方は、当日、参加者IDを名簿にご記入下さい。

フリガナ

代表者名：

TEL：

勤務先：

FAX：

講演会参加者 氏名	建築CPD希望	勤務先(代表者と勤務先が異なる場合)
	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	
	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	
	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	
	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	
	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	

※ご記入いただいた個人情報は厳重に管理し、このイベントの受付確認以外の目的で使用することはありません。

第16回 まちとすまいの集い

かしこく住まう

「つながり、まもり、いかす」

少子高齢化や環境破壊問題、エネルギー問題、自然災害問題など、私たちを取り巻く環境は大きく変化しています。そのような状況の中で、私たちは如何にうまく自然と共生しつつ安全安心な生活を送ることができるかが、今後ますます重要になってきます。そこで、今年度の「まちとすまいの集い」は、「かしこく住まう 一つながり、まもり、いかす」と題して、名古屋大学名古屋大学建築学教室に所属する建築計画、木質構造、設備設計を専門とする先生方に、如何に、人とつながり、自然を守り、自然の恩恵を享受しながら、かしこく住まうかについて、それぞれのご専門のお立場から講演いただきます。

2014年11月22日 (土)

13:20~16:30

名古屋大学

環境総合館 1階レクチャーホール

名古屋市営地下鉄名城線

「名古屋大学駅」2番出口より徒歩約4分

参加費 無料 (定員100名)

主催 名古屋大学大学院環境学研究科 建築学教室

後援 (一社)日本建築学会 東海支部
(公社)日本建築家協会 東海支部
(公社)愛知建築士会
(公財)名古屋まちづくり公社
名古屋都市センター
(公社)空気調和・衛生工学会 中部支部
(一社)建築設備技術者協会 中部支部
(一社)日本建築構造技術者協会 中部支部
なごや環境大学

【開催概要】

日時 2014年11月22日(土) 13:20~16:30
 場所 名古屋大学環境総合館1階レクチャーホール
 参加費 無料(定員100名)

【プログラム】

13:20 主催者挨拶(建築学教室主任 清水裕之)
 13:30 講演① 脇坂圭一
 「ソトマをわかちあう家に住まう」
 14:20 講演② 古川忠稔
 「地域産木材で建てた家に住まう」
 15:10 休憩
 15:20 講演③ 田中英紀
 「自然の恩恵に与って快活に住まう」
 16:10 全体の質疑応答
 16:30 閉会挨拶

なお、12:30より減災ギャラリー(減災館1,2階)をご覧ください。

【会場案内】



【お申し込み方法】

必要事項(お名前、ご所属、ご住所、TEL/FAX/E-mail)を記入の上、下記までE-mail、FAX、または郵送にてお申込み下さい。11月12日(水)締切とさせていただきます。

【お申込み・お問い合わせ先】

名古屋大学建築学教室
 まちとすまいの集い事務局(担当:穂積)
 〒464-8603 名古屋市千種区不老町 C2-④
 TEL:052-789-5233 FAX:052-789-3773
 E-mail:machi@nuac.nagoya-u.ac.jp
<http://www.nuac.nagoya-u.ac.jp/machi/>

【講演概要】

①「ソトマをわかちあう家に住まう」

脇坂圭一(わきさかけいいち) 施設・環境計画推進室 准教授
 専門分野:都市計画・建築計画、建築史・意匠

シェアが時代のキーワードとなっています。これを住宅の空間配置に置き換えてみることはできるでしょうか。さすがに内部空間をシェアすることは難しそうです。でも外部空間ならいろいろな空間配置がありそうです。広い庭へ広がる視界、走り回る子供たち、畑仕事をしながらの会話、一休みのための東屋など。もともと日本の建築空間に見られた借景という概念に近いかもしれません。塀や生け垣で閉じた空間配置から、適度に開かれたそれへ。こうした場所を内部空間から延長する外の居間と考へ、ソトマと名付けました。地域のコミュニティが弱体化しているといわれる現代においてソトマの持つ可能性を実際のプロジェクトを通して考えたいと思います。



②「地域産木材で建てた家に住まう」

古川忠稔(ふるかわただとし) 環境学研究科 准教授
 専門分野:耐震構造、木質構造

愛知県を中心とする伊勢湾流域圏には、スギやヒノキを中心とした豊かな森林が広がっています。森林は木材を供給するだけでなく、二酸化炭素吸収や生物多様性の保全、水源の涵養など様々な機能を持ち、これら機能を持続させるには森林環境を適切に管理する必要がありますが、そのためには国産、特に地域産の木材を「かしこく」使う家づくりの推進が求められています。ここでは、県産材を中心として地域の森林の現状と生産される木材の特性を踏まえ、どのような利用が可能であり、どんな家づくりができるかについて考えてみます。

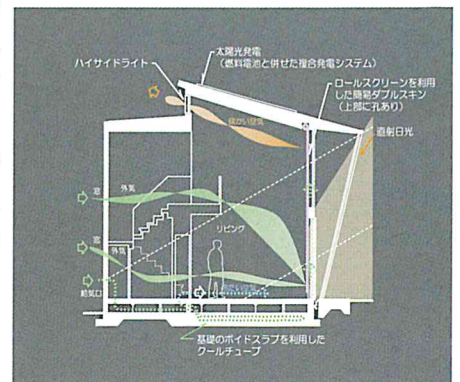


③「自然の恩恵に与って快活に住まう」

田中英紀(たなかひでき) 施設・環境計画推進室 特任教授

専門分野:建築環境設備

今も寺社建築などで見ることが出来る部戸(しとみど)は、平安時代に現れた建具の一つです。部戸は、夏の日差しや風雨をさえぎる役割を持つとともに、シャッターのような防犯機能をも持ち合わせた、多機能な建材といえるでしょう。本講では、部戸のような古(いにしえ)に培った合理性の高い技術に着目しつつ、住まいや暮らしを取り巻く自然の摂理にも触れながら、これからの住宅や暮らしのあり方を考えます。また、自然の恵みと先端技術を巧みに活用した低炭素住宅の事例紹介とともに、自然の恩恵に与って、かしこく・快活に住まう方法について、皆さんと一緒に考察します。



NEWS! 減災館のオープン

名古屋大学東山キャンパス内に2014年3月、「減災館」がオープンしました。ここでは、減災連携研究センターに関わる研究者が最先端の減災研究を行う拠点で、建築学教室教員も兼任教員として関わっています。市民や学生向けに防災

・減災に関する様々なパネルや教材を展示するとともに、地下の免震装置や屋上階には、地震や建物の揺れを体感できる振動装置を備え、建物全体が実験室として機能するわが国初の研究拠点にもなっています。また、大災害時には大学や地域の災害対応拠点としての機能を果たします。



第6回 建築コンクール

主催 公益社団法人愛知建築士会名古屋北支部

テーマ

資料一

支える建築

審査委員

建築家 中村好文

建築家 栗生 明

建築家 古谷誠章

建築家 伊礼 智

構造家 江尻憲泰

シンポジウム 入場無料

「支える建築」とは何か？

審査委員によるテーマ説明をシンポジウム形式で行ないます。
ぜひご参加ください。

平成26年10月23日(木) 午後6時30分～

会場・早稲田大学 西早稲田キャンパス内

作品募集

最優秀賞 / 賞金 20万円

応募締切

平成27年1月9日(金) 当日消印有効

応募登録が必要です。

応募方法、詳細はホームページをご覧ください。

<http://kenchiku-concours-758n.org>

公開審査

入場無料

平成27年2月7日(土) 午後2時～

会場・名古屋都市センター

名古屋市中区金山町1-1-1 金山南ビル内

後援 / 愛知県、名古屋市、(公社)愛知建築士会、(公社)日本建築士会連合会、(公社)愛知建築士事務所協会、(株)中部経済新聞、(公社)日本建築家協会東海支部愛知地域会
(公財)名古屋まちづくり公社名古屋都市センター

協賛企業 / 旭化成建材株式会社、一般財団法人愛知県建築住宅センター、株式会社確認サービス、総合資格学院株式会社中部資格、旭東海株式会社、有限会社名工社、株式会社CI東海株式会社 TJM デザインキッチンハウス名古屋支店、株式会社ハイム、株式会社プリマヴェーラ、からふみ屋(有) 柏彌紙店、gallery yamahon、相羽建設株式会社、日本ボレイト株式会社